



こどもみらい館開館20周年記念 第2弾

令和元年度 第9回共同機構研修会

令和元年 11月29日(金)

「保育者が大切にすべき子どもの心 ～2歳児の世界～」

講師 井桁 容子さん (非営利団体コードモノミカタ代表理事)



今、日本中の子どもたちが大変な思いをしています。皆さんは「みんなと同じことができないと駄目な子」とみる物差しを使っていないでしょうか。保育や教育に携わる人は、温かく応答的・受容的に関わることを求められています。子どもたちに毎日関わる人たちの質、つまり子どもたちをどのように見ているかが環境を作り、心を育てていくかが決まるということで、関わるの質こそが保育の質を考えるうえで一番重要です。

子どもがありのままに暮らしていくには、保護者に「先生たちは自分たちをありのまま受け止めてくれる」という信頼関係がないと子どもは救えません。そのためには、保護者をどう見るかも大切です。保育者も教師もみんな同じでなくていい、違っているからこそ苦手なものを補い合える、そういう環境が、子どもの育ち、保育や教育の質に大きく影響します。もし私たち専門家が今、子どもたちを何も分かっていない存在だと思っているのなら、保育とは、教育とは、何のためにするのかをもう一度考え直してみましょう。

0歳から温かく応答的で共感的な環境に育った子どもたちは、2歳で自分なりの最適な答えを出せるようになります。分かってくれる大人がそばにいて、そのことを言語化する、共感して言葉にすることがコミュニケーション力を育むのです。子どもたちは、経験が少ない分、先入観なく、やわらかい感覚を持ち、応用性と柔軟性を持っています。教えなくても子どもたちが持っているこの力を大人たちが見落としたり、抑え込んではいないでしょうか。

子どもの思いを全部分かってあげることが正解ではなく、子どもの思いに外れたときにこそ、その対応が共感的であることが重要です。ですから、いつも「どうしたいの？」と問いかけることを忘れないでください。一人ひとりがその子らしく生きられることを応援するためには、私たち自身も欠点を隠すのではなく「助けて」と言えること、子どもや保護者を分かった気になる人から、分かろうとし続ける人になることが大切です。

受講者の声

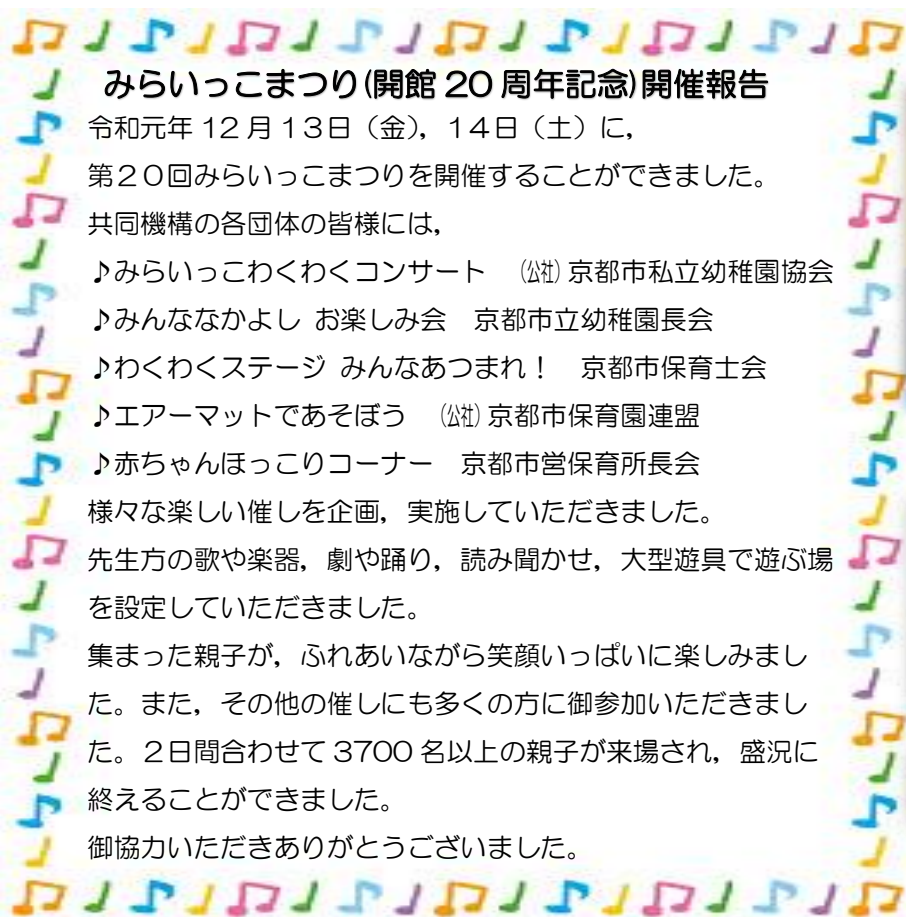
自分の保育を振り返り反省することが多く、とても学びのある講演でした。明日から、また子どもとの関わりの中で活かしていきたいと思います。

自分の欠点を隠して過ごしているかもしれないと思いました。まずは自分がやってみようと過ごさなきゃな、そして何でも面白いね！と受け止める人になろうと思いました。



心に残る言葉をいっぱいいただきました。柔軟な心の大人でありたいと思いました。

少し自信をなくしていましたが、研修を受けて、また頑張ろうという気持ちになりました。ありがとうございました。



みらいっこまつり(開館 20 周年記念)開催報告

令和元年 12 月 13 日(金)、14 日(土)に、第 20 回みらいっこまつりを開催することができました。

共同機構の各団体の皆様には、

♪みらいっこわくわくコンサート (公)京都市私立幼稚園協会

♪みんななかよし お楽しみ会 京都市立幼稚園長会

♪わくわくステージ みんなあつまれ! 京都市保育士会

♪エアーマットであそぼう (公)京都市保育園連盟

♪赤ちゃんほっこりコーナー 京都市営保育所長会

様々な楽しい催しを企画、実施していただきました。

先生方の歌や楽器、劇や踊り、読み聞かせ、大型遊具で遊ぶ場を設定していただきました。

集まった親子が、ふれあいながら笑顔いっぱいを楽しみました。また、その他の催しにも多くの方に御参加いただきました。2 日間合わせて 3700 名以上の親子が来場され、盛況に終わることができました。

御協力いただきありがとうございました。



その他のイベント

☆お茶席体験コーナー：竹間自治連合会 ☆あつまれ！未来のピカソたち：京都市立銅駝美術工芸高等学校

☆おもちゃ病院：京都 SKY おもちゃ病院 ☆オルゴール演奏会：キコーオルゴール ☆みんなでフラダンス：楽' ohana

☆人形劇・タオル劇場：京都女子大学人形劇団たんぼぼ ☆親子で楽しもう♪：NPO 法人 京都子育てネットワーク

☆親子でほっこりふれあいあそび：京都市営保育所地域子育て支援拠点事業担当 たくさんの皆様楽しんでいただきました♪

子どもを育む喜びを感じ、親も育ち学べる取組を進めます。

[京都市はぐくみ憲章]より



この印刷物が不要になれば「雑がみ」として古紙回収等へ！



発行日 令和2年 2月22日
発行者 京都市子育て支援総合センターこどもみらい館
〒604-0883 中京区間之町通竹屋町下る楠町 601-1
Tel : (075)254-5001 Fax : (075)212-9909
URL : <https://www.kodomomirai.city.kyoto.lg.jp/>